



東日本大震災から5年後の被災地復興状況視察（岩手県大槌町旧役場庁舎）※屋上近くまで浸水

田子町 議会だより

2016



第87号

平成28年4月20日発行
青森県田子町議会

目次

平成28年度予算が決まる	2
一般質問に3議員登壇	6
先進地から学び町政に生かす (常任委員会合同視察)	15
森林資源の活用を (町の人にインタビュー)	16

3月定例会

定例会のあらまし

平成28年第1回定例会は3月4日から11日までの8日間の会期で開催されました。

7日の一般質問には3人の議員が、8日の政方針に対する質問には2人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。その後、平成28年度予算を除く議案20件について審議しました。

予算特別委員会は9日から11日にかけて行われ、平成28年度の一般会計予算と5特別会計予算について認定すべきものと決しました。11日には選挙管理委員会委員及び選挙管理委員補充員の選挙が行われ、議長の指名推薦により選挙管理委員会委員に4名、補充員に4名が当選しました。

予算特別委員会で平成28年度予算を審査

平成28年度の主な事業

総務課関係

自主防災組織育成強化特別推進事業費補助金 180万円

屋外拡声施設新設工事 480万円

TCV業務委託料 6734万2千円

庁内コンピュータシステムリース料 3272万4千円

税務課関係

ふるさと納税記念品 2575万円

ふるさと納税関連業務委託料 702万円

クレジットカード決済の導入に伴い寄付件数の増加が見込まれるため、インターネット

ト申込みの受付、記念品の配送、管理業務までを委託するもの。

政策推進課関係

消耗品費 160万円

広報誌綴り込みバインダー全戸配布2700部

田子町公共サイン整備業務委託料 1500万円

平成27年度から順次、町内の公共施設や観光地への案内看板を整備している。平成28年度は25基程度、誘導サイン等の設置を計画している。

姉妹都市等国際交流事業委託料 560万円

ギリロイ市及びソサン市への訪問や招待、外国語講座の開催、語学検定支援などの事業を田子町国際交流協会に委託するもの

教育課関係

入学祝い金 320万円

田子高校の募集枠40人分1人8万円

小中学校スクールバス運行委託料 2701万2千円

児童生徒全国大会等出場奨励金 150万円

田子高校郷土芸能部支援補助金 300万円

子ども医療費助成金 200万円

田子高校生に対する医療費の助成

上郷小学校改修工事 720万円

予算特別委員会の質疑

コミュニティバス運行委託料 2551万4千円

健康ポイント記念品 10万円

問 沢口委員

ダイヤや路線の見直しをお願いしていたが、その後どうなったか。

答 住民課長

来年度は大きな変化はない。将来的に他町で行っている、乗り降りが自由にできるフリーライドを検討している。また、委託事業者にも可能かどうか検討をお願いしている。

問 沢口委員

ダイヤの変更は難しいか。

答 住民課長

現在、6台のバスをフル稼働しており、基準の運行距離数もオーバーしているため、縮めないといけないのが実態。

縁結びプランナー報償金 60万円

答 産業振興課長

問 尾形委員
実績はどうだったのか。

昨年、地域おこし協力隊の筒崎さんが有害鳥獣の駆除隊員になりたいと、狩猟免許を一式そろえている。かかる経費約30万円の2分の1を支援している。

建設課関係

測量設計委託料

1160万円

中山間地域総合整備事業の計画策定
700万円

雀ヶ平地区の農道補修工事に係る測量設計
460万円

農道維持工事

1400万円

雀ヶ平地区の農道補修の工事費

嘉沢関線林道開設工事

5847万円

小雷鉢貫通線林道開設工事
8770万円

小規模治山工事

752万円

川倉平地区の工事

ロータリー除雪車購入

2580万円

安全安心住宅リフォーム促進支援事業補助金
400万円

除雪委託料

156万6千円

産業振興課関係

野菜等生産力強化対策事業費補助金

1543万4千円

労働力の省略化を図るため、収穫機等の導入に対し、県が4分の1、町が4分の1を補助。本年度は認定農業者19名に支援予定。

農業先進技術チャレンジ支援事業費補助金

225万円

新たな技術や作物栽培等に取り組み支援事業1件15万円を上限に15組に補助。

パイプハウス再生・導入事業費補助金

620万円

標準的なパイプハウス20棟分に対する補助

耕作放棄地再生対策事業費補助金

250万円

耕作放棄地再生利用を促進するため、障害物除去や整地等に係る経費の一部に対して補助する事業

大型テント購入

510万円

大型テント3張を購入するため

住民課関係

若者定住促進住宅等入居支援事業費補助金

552万円

40歳未満の若者等が新たに田子に来て住宅を借りた場合、月額2万円の住宅費の助成を行う。23人を見込んでいる。

若者定住・移住者住宅整備支援事業助成金

463万7千円

民間の方が若者等を対象としたアパート等を建てる場合に助成するもの。

同窓会支援助成金

24万円

同窓会を通じた出会いの場や田子町の新たな発見を狙いに、1人あたり2000円の助成をする。4組を予定している。

定住移住促進通勤支援助成金

842万5千円

田子町に居住し1年間継続して町外に通勤している人に3万円、子どもを扶養している場合には5万円を助成している。

入学祝い金

373万円

健康増進課関係

買かん検診委託料

275万4千円

公用車購入

150万円

保健活動用の軽自動車が老朽化したため更新するもの

インフルエンザ予防接種事業補助金

990万円

従来は使用料をもらっていたが、現在は無料のため全額持ち出し。特別交付税で2000万円の歳入があるため金額で言えば4700万円ほどが持ち出しとなる。

現在10人がプランナーとして登録している。始まったばかりでまだ結婚に結びついた実績はない。

増員の目安は獵友会と相談しながら進めていきたい。創業研修支援補助金
120万円

TCV業務委託料

6734万2千円

問 尾形委員

問 尾形委員
創業支援等、活動を紹介する機会はあるか。

町からの持ち出しはいくらか。

答 産業振興課長

答 総務課長
従来は使用料をもらっていたが、現在は無料のため全額持ち出し。特別交付税で2000万円の歳入があるため金額で言えば4700万円ほどが持ち出しとなる。

答 産業振興課長
販路拡大、ブランド管理など、町内の中小企業者が頑張っている姿や実績を見せる機会は大切だという考えは同じだと思う。周りの人たちにも影響を与えるような報告会の場を設けたいと考えている。

●平成28年度各会計の予算額

会計区分	予算額
一般会計	46億6500万円
特別会計	
国民健康保険事業	10億7400万円
後期高齢者医療	6520万円
介護保険事業	9億9980万円
田子町立田子診療所及び介護老人保健施設事業	4億5300万円
合計	72億5700万円

会計区分		歳入	歳出
企業会計	水道事業		
	収益的収入	1億5930万4千円	—
	収益的支出	—	1億5492万2千円
	資本的収入	8616万5千円	—
	資本的支出	—	1億5854万3千円

審議結果

補正予算や条例改正など、
27件の議案が提出され、審議しました。
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第1号	平成28年度田子町一般会計予算 歳入歳出予算総額：46億6500万円	可決 (賛10・否0)
議案第2号	平成28年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計予算 歳入歳出予算総額：10億7400万円。 国民健康保険に関わる一般被保険者及び退職被保険者に係る保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金及び共同事業拠出金等に係る予算	可決 (賛10・否0)
議案第3号	平成28年度田子町後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出予算総額：6520万円 後期高齢者医療制度に関わる医療費などの広域連合への納付金	可決 (賛10・否0)
議案第4号	平成28年度田子町介護保険事業勘定特別会計予算 歳入歳出予算総額：9億9980万円 介護保険制度に基づく、居宅及び施設介護サービス給付費等の予算	可決 (賛10・否0)
議案第5号	平成28年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計予算 歳入歳出予算総額：4億5300万円 診療所、介護老人保健施設及び訪問看護ステーションの運営に係る経費	可決 (賛10・否0)
議案第6号	平成28年度田子町水道事業特別会計予算 収益的収入及び支出 収入：1億5930万4千円 支出：1億5492万2千円 資本的収入及び支出 収入：8616万5千円 支出：1億5854万3千円	可決 (賛10・否0)
議案第7号	田子町にんにく専用高温処理施設に係る指定管理者の指定 指定管理者：八戸農業協同組合 指定の期間：平成28年4月1日～平成31年3月31日	可決 (賛10・否0)
議案第8号	田子町にんにく専用CA冷蔵庫に係る指定管理者の指定 指定管理者：八戸農業協同組合 指定の期間：平成28年4月1日～平成31年3月31日	可決 (賛10・否0)
議案第9号	町道路線の認定（清水頭袖平線他） 「清水頭袖平線」「堂ノ東線」「天間平線」「天間平線支線一号」について、町道路線として認定するもの	可決 (賛10・否0)
議案第10号	字の区域変更 県営原・飯豊地区経営体育成基盤整備事業の施行に伴い、現在の大字原字高屋敷他の字区域の一部を変更する必要があるため、議決を求めるもの。	可決 (賛10・否0)
議案第11号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 青森県人事委員会の勧告に準拠し、議員の期末手当の年間支給月数を0.1月分加えて、2.9月分から、3.0月分とするもの	可決 (賛10・否0)
議案第12号	田子町特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正 青森県人事委員会の勧告に準拠し、特別職の期末手当の年間支給月数を0.1月分加えて、2.9月分から3.0月分とするもの	可決 (賛10・否0)

議案 第13号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例附則第五項の規定によりなおその効力を有するものとされる教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正 青森県人事委員会の勧告に準拠し、教育長の期末手当の年間支給月数を0.1月分加えて、2.9月分から3.0月分とするもの	可決 (賛10・否0)
議案 第14号	職員の給与に関する条例等の一部改正 青森県人事委員会の勧告に準拠し、給与表の変更及び一般職員の勤勉手当の年間支給月数を0.05月分加えて、1.45月分から1.5月分とするもの	可決 (賛10・否0)
議案 第15号	田子町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正 過疎地域自立促進特別措置法が改正されたことに伴い、所要の記載事項を改めるもの	可決 (賛10・否0)
議案 第16号	田子町介護保険条例の一部改正 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、所要の記載事項を改めるもの	可決 (賛10・否0)
議案 第17号	田子町水道事業の設置等に関する条例の一部改正 田子町水道事業基本計画の策定に伴い、給水区域等の水道事業の内容を変更するため、関係する条項を改正するもの	可決 (賛10・否0)
議案 第18号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 行政不服審査法の施行に伴い、関係する条例の整備の為、各条項を改正するもの	可決 (賛10・否0)
議案 第19号	田子町行政不服審査会条例の制定 行政不服審査法の施行に伴い、田子町行政不服審査会の組織及び運営その他同法の施行について必要な事項を定める為、田子町行政不服審査会条例を、新たに制定するもの	可決 (賛10・否0)
議案 第20号	田子町過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成32年度） 平成28年度から平成32年度までの「田子町過疎地域自立促進計画」策定にあたり、過疎地域自立促進特別措置法の規定により議会の議決を求めるもの	可決 (賛10・否0)
議案 第21号	平成27年度田子町一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出の総額に6411万4千円を増額	可決 (賛10・否0)
議案 第22号	平成27年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出の総額から4254万4千円を減額	可決 (賛10・否0)
議案 第23号	平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出の総額に125万3千円を追加	可決 (賛10・否0)
議案 第24号	平成27年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出の総額から3211万8千円を減額	可決 (賛10・否0)
議案 第25号	平成27年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出の総額から1億2357万3千円を減額	可決 (賛10・否0)
議案 第26号	平成27年度田子町水道事業特別会計補正予算（第2号） 収益的収入及び支出 118万千円の減額 基本的収入及び支出 収入：1269万8千円の減額 歳出：1149万7千円の減額	可決 (賛10・否0)
議案 第27号	田子町教育長の任命 現在教育長の宇藤裕夫氏の任期が満了となるため、宇藤氏の再任について議会の同意を求めるもの	承認 (賛10・否0)

一般質問

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。3月定例会では議員3人が一般質問を行いました。



議員 夫則端 欠

安心安全への考え

【質問1】

集落の安心、安全をどのように支えるか。道路整備、除雪や安否確認をどう考えるか。

【町長答弁】

田子診療所では、「訪問診療」を、訪問看護ステーションでは「訪問看護」を、田子町社会福祉協議会では配食サービスを兼ねた安否確認や福祉安心電話の設置を実施している。

道路整備は総合計画的に取り組んでいる。

除雪については地元の人々の協力を得ながらトラクター除雪となっている箇所も多くある。

【質問2】

福祉安心電話の機能と申し込み手続きは。

【住民課長答弁】

窓口は社会福祉協議会。自宅の電話回線を利用して、家から離れた時はペンダント方式のボタンで連絡をする。

水道事業

【質問1】

経費増と人口減少に

よる収入減で、水道料金を今の料金で続けられるのか。

【町長答弁】

平成26年10月から八戸圏域水道企業団と同額となっており、また人員削減により改善され、当面の間は料金改定を考えていない。

【質問2】

当町ではわき水を使っていると思うが、川の水を供給しているところはあるか。

【建設課長答弁】

川の水を利用していいところはない。個別に引っ張っているところもすべてわき水である。

田子牛の確保

【質問1】

2月の子牛セリで来年のにんにくとべごま

つりの牛は確保されたと思うが、今後の牛肉確保の方向性は。

【町長答弁】

町では「肥育素牛基金」「田子牛産地形成事業」により農家支援を実施。人材の育成としては「畜産カレッジ」を開講して町が支援を行う予定。

【質問2】

島根県視察で海士町等では安価で牛舎が建つと聞いた。青森県での補助や資金援助等、島根県と比較して示してほしい。

【町長答弁】

海士町では牛舎整備は公設民営方式をとっている。草地整備と共に行う国庫事業では2分の1補助となっているが、様々な条件などがあることから現在は利用していない。島根

県独自の事業として地域取り組みの支援をしており、補助率は3分の1となっている。この県の事業を利用し、補助残分については町が過疎債を利用していきなり補助事業が活用できない場合は過疎債のみで整備。どちらの場合も生産者が使用料を

払いながら牛舎を利用しており、補助残分は個人負担となる。青森県の対策では独自の事業はない。標準的な牛舎価格を比較できる資料はなかった。県に対しては事業設置について要望して参りたい。



青森県家畜市場で行われた子牛のセリ



沢口博二 議員

国民健康保険制度

【質問1】市町村単位を県単位に変える動きがあるようにだが、なりそうか。

【町長答弁】保険制度の安定のため、平成30年から県単位になるが、内容はまだ固まっている。現状とさして変更はない予想である。

【質問2】そうなった場合の問題点はあるか。

【町長答弁】

変更によるシステムの構築に対する国の助成が不明だが、県の主

導下で進められると思われる。

【質問3】平均の保険料、保険未使用の特典は考えられないか教えて欲しい。

【町長答弁】

平均の保険料は、平成26年度は1人あたり10万4781円。1世帯では20万3392円。特典について、無受診が決して優良ではなく、相互扶助のためにも特典は難しい。

鍛冶屋の弟子

【質問1】2度目の弟子だが、町として育成につき、どのような考えか。

【町長答弁】

全国唯一の漆かき用具の製作技術であるとの認識から、町としても可能な限りの支援体制を構築して参りたいと考えている。

【質問2】

鍛冶職としての自立、漆文化の復活・浸透につき、施策は持っているのか。

【町長答弁】

任期中に起業支援の調査研究を進め、漆についても国産の需要増加が見込まれることから、漆の木の生産についても調査研究して参る。

田子町奨学金制度

【質問1】現状の制度のあり様を教えてください。

【町長答弁】

募集人数は年間13名程度。大学は月額3万円、高校は1万円。10年償還として、12月下旬に「奨学資金貸付審査会」を開催し貸付を決定している。

【質問2】

増額等、制度の拡充は可能か。

【町長答弁】

町では奨学基金の強化と共に、「次代の子どもの教育環境を考える懇話会」の検討事項に制度拡充を依頼している。

世紀越えトンネルについて

として努力したい。

【質問1】先般の鹿角市でのフォーラムの感想をお聞きしたい。

【町長答弁】

会場いっぱい120人の参加があり、鹿角市側の関心が高まっていると感じられた。田子や八戸にとっても、安全・交流の促進のためにも重要な位置づけ

【質問2】

次回は田子で開催したいが、町長の考えは。

【町長答弁】

次回、田子で開催となれば、このトンネルの重要性にかんがみ、町としても大いに支援して参りたい。



約120人が出席したフォーラム



尾形 憲男 議員

環境事務組合

【質問1】
事務組合の概況とこれまでの経緯は。

一般廃棄物処理の事務の一部を三戸町、田子町及び南部町で共同処理する特別地方公共団体。昨年8月31日に三戸地区塵芥処理事務組合が解散し、9月1日にその事務を三戸地区環境整備事務組合が継承し統合された。前身の環境整備事務組合はし尿処理、葬祭場の設置及び管理に関する事務を行うため、三戸町、田子町、旧名川町、

「三戸地区葬祭場建設検討委員会」を設置し平成31年度までに工事完成、平成32年度運転稼働を目標に鋭意検討中。し尿処理施設は、昭和62年竣工後、これまで改修工事を実施しつつ稼働中、近い将来に新設の必要性がある。

旧南部町の4町で構成し、昭和39年に設立。塵芥処理事務組合は、一般廃棄物の処理施設などの設置及び管理を行うため、三戸、旧南部町の2町で昭和44年設立、その後昭和50年に旧名川町と田子町が加わり4町の構成となり現在にいたる。

【質問2】
各施設の現在の状況は。

【町長答弁】
葬祭場は、昭和48年に竣工し、43年を経過し早急な更新が必要。

設の新設整備や大規模改修については、建設費用の負担を平準化するための事業年度の割り振りなどや、経済的整備手法などの調査、検討が順次早急に求められている。

ごみの焼却施設は、平成7年竣工、老朽化に対応するため、大規模改修による長寿命化を図るか、設備を新設するか、対応について検討を始める予定。不燃物埋立最終処分場は、昭和59年に竣工し、焼却灰などを埋立処分している。現在の推定では、平成34年度頃に埋立能力が無くなる見込みで対応を検討していく。

【質問3】
今後の課題は。

【町長答弁】
各施設の老朽化への対応が大きな課題。施

仮称 世紀越えトンネル

【質問1】
現在の状況は。

平成2年に現地調査を開始。平成11年には、秋田、青森両県の、沿線市町村とともに、現在の「八戸能代間北東北横断道路整備促進期成同盟会」が設立。平成26年2月に町の民間団体による八戸能代間地域連携協議会が、平成26年4月には、鹿角、田子の両議会による、世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会が発足。

【質問2】
本路線の必要性について伺う。

【町長答弁】
1 災害時、太平洋側、若しくは日本海側が被災した際の物資などの支援ルート。
2 両県間の輸送経路、整備が進めば、圏域間の産業が活性化する。
3 交流人口拡大によって地域活力低減を克服し、観光交流の促進が期待できる。
4 冬季の安全性確保。
5 将来の地域間交流を支えるルートの確保があげられる。

本路線は、津軽地方への最短路線で、青森県内の周遊路線の充実を図るものであり、環十和田湖周遊ルートとしても大きく機能する。

【質問3】
今後の取り組みは。

【町長答弁】
青森、秋田両県が前

向きに協議の場を持って頂くよう働きかけていきたい。

奨学資金基金

【質問1】
高校生への貸与額（月額田子高校1万5千円、他校1万円）の差をつける意味が解らない。

【教育課長答弁】
田子高校へ多くの進学者に来ていただきたい、田子高校の魅力作りの一環である。

【質問2】
5千円多いことが魅力になるとは思えない。入学一時金の増額や地元へ帰ってくる子への配慮の為の免除型を考えては。

【町長答弁】
ご意見は、アイデアとして今後も研究する際に検討したい。

施政方針に対する質問

3月定例会では、翌年度の町政運営について、町長が施政方針を述べます。議員はその施政方針に対し、疑問点等を質問します。今回は議員2人が質問しました。

沢口博二 議員

農業政策

最大の農業者団体たるJAとの連携をもっと密にすべきではないか。

【質問】

JAとの連携はさまざまな事業を通じて連携を図っている。合併後、地元の意見が通りにくいとの評判も聞くが、今後もJAの存在は農業者にとって大きなものであり、さらに連携を強化したいと思っている。

【町長答弁】

行政組織全般

副町長として、施政方針とどのように組織を関わらせ推進するつもりか。

【質問】

基本的には田子町総合計画に係る5ヶ年実施計画を町民目線に立って実施していく。中長期的観点からは、職員世代交代の時期にきていることから、職員の資質向上のため庁内においても研修を実施し、行政力の低下のないように育成に努めていきたいと考えている。

【副町長答弁】

人口減少への対策

人口減少に向けての具体的施策を示してもらいたい。

【質問1】

定住促進のため、支援窓口の充実を図るつもりでいる。

【町長答弁】

「長期総合人口ビジョン」と「創生総合戦略」の下、社会減、自然減の双方につき具体的な施策を打つ予定。

【町長答弁】

外部から来ていただく「お試し住宅」をもっと推進できないか。

【質問2】

【町長答弁】

各産業の支援、拡充をはかり、「魅力あふれるしごとづくり」を推進する。また、移住・

現在、空き家は町内に198軒あるが、種々の事情によりお試し住宅として活用するのには困難なところがある。



お試し体験住宅

第三セクター



観光拠点としての協議が必要とされる創遊村

創遊村、にんにく国際交流協会、ケーブルテレビにつき、現状をどう認識しているか。

【質問】

【町長答弁】

創遊村は大黒森タプコプ学校に指定管理をまかせているが、今後、観光拠点としての見通しの協議が必要と考えている。

にんにく国際交流協会は、にんにくの高値傾向により苦しい経営が続いているが、ご当地グルメの開発等を行い事業収益を高めていきたいと考えている。ケーブルテレビは、町民に親しまれており、今後はスタッフの新企画を活かす環境をつくらせていきたい。

尾形憲男 議員

人口減少対策

【質問1】

今年度、特に18歳までの人口が48人減少している原因は。

【町長答弁】

転入、転出による社会増減は12人、生まれる子供の数の減少による自然減によるものと思われる。子育て支援を推進し子供の数が増えるように取り組む。

【質問2】

入学祝い金が支給される方（田子高校生）とそうでない方が昨年まであったが今年はやめたのか。

【町長答弁】

学校支援として新規に行い、子育て支援としては廃止した。（田子高校分）

【質問3】

高校の魅力は、お金がもたらえる事ではないのでは。

【町長答弁】

入学祝い金は生徒数減少を改善する補助的なもの。経済格差が教育格差にならないために。

【教育長答弁】

連携中学校からの進学者が少ないことは、県立高校の将来構想会議で検討課題として取り上げられている。そういう意味からの、中高連携への支援はありがたい。

【質問4】

キャリア教育に力を入れ就業環境を整え少子化、労働力不足解消、人口増につなげては。

【町長答弁】

教育は最も大事。新

雇用の創出の必要性

規就農者、創業塾、合わせてやっていく。地域を守る人たちを作っていきたい。

【質問1】

雇用創出に向けた取り組みを示せ。

【町長答弁】

新たな雇用の確保に向け創業支援として創業塾を開設した。

【質問2】

創業塾とは。

【町長答弁】

町内で起業している方が二次的な部分で創業したい等、専門知識を学ぶ事にかかる支援の場。

【質問3】

若い内から職業について考える環境が必要ではないか、中高一貫のなかに取り入れては。

【町長答弁】

次世代の教育を考える懇話会で検討いただいている。

農業振興

【質問1】

土地利用の在り方と、持続可能な農業について連動した取り組みが必要では。

【町長答弁】

農業者の高齢化や担い手不足により耕作放棄地に向かう農地が増えていくことが懸念されており、土地利用の状況把握と在り方を示すことが大事。

【質問2】

具体的な事業は。

【町長答弁】

耕作放棄地防止対策として中山間直接支払、多面的機能維持。解消対策としてにんにく新規圃場栽培奨励、農地利用促進対策があり、

持続可能な農業を実現するために、野菜等生産力強化、パイプハウス再生・導入事業がある。

農村環境の維持と里山の整備と林業

【質問1】

付加価値を加え、可能性の追求とあるが。

【町長答弁】

これまでの森林活用は、建材やチップ材などであったが、きのこや山菜、葉わさびなどの林産物、木工製品、新エネルギー原料など、資源が沢山あり、これまでにない産業に繋がる可能性を秘めている。

【質問2】

具体的にはどの様に進めるのか。

【町長答弁】

森林等活用検討委員会をたちあげ、里山の整備や、利用の在り方

商工業の振興

【質問】

チャレンジショップ運営事業とはどんなものか。

【町長答弁】

町内空き店舗を利用し、出店希望者に一定期間、出店していただき、家賃及び店舗改修費用に対して補助をしていく。

議会活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会への参加、先進地視察を行っています。

事務事業調査

○実施日 2月15日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【教育課関係】

進学資金は、解散し、会員出資金は会員に返還。償還中の貸付金の返済金は町に譲渡し奨学金として取り扱う。

田子中学校に43名進学し5名が町外の中学校に進学する。田子高等学校へは中学校卒業者57名のうち26名が連携入試で合格している。

【総務課関係】

第6次総合計画に準拠し、新たな田子町圏域自立促進計画を作成し、定例会に上程する。

WiFiファイ環境の整備

【住民課関係】

防犯灯LED化整備

防犯灯LED化整備

防犯灯LED化整備

防犯灯LED化整備

備を町内4カ所に整備済み、利用状況の確認をし改善点があれば対処する。自主防災組織が増えている。お返し

が新たに3つ組織され合計12組織となった。消防団に支援団員制の導入を消防委員会に検討していただくよう要望した。

【政策推進課関係】

広域連携では、ドクターカー運行事業負担金他6事業で88万9千円。

国際交流事業で、語学検定料を助成、一般と高校生を対象に。小中学生分は教育課で。国際交流推進員は、今年度で交替、女性の方に決まり7月に着任予定。

【税務課関係】

28年1月末現在、町税、国民健康保険税の徴収率は、前年度比、微増となっている。引

き続き5月末の出納閉鎖まで徴収に努力する。

お返しが増えている。お返しは、田子牛、にくが人気。4月からカード決済も取り入れるので寄付金増に期待する。

国際交流事業で、語学検定料を助成、一般と高校生を対象に。小中学生分は教育課で。国際交流推進員は、今年度で交替、女性の方に決まり7月に着任予定。

今年度で交替、女性の方に決まり7月に着任予定。

今年度で交替、女性の方に決まり7月に着任予定。

今年度で交替、女性の方に決まり7月に着任予定。

今年度で交替、女性の方に決まり7月に着任予定。

事務事業調査

○実施日 2月16日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【診療所・老健の運営】

3月補正で1704万7千円を繰り入れ、28年度予算は、医療機器整備等計画等で4億5300万円を見込んでいるとのこと。医師については、県の派遣医1名と町独自に1名を確保するため、現在進めているとのこと。

【産業振興課関係】

28年度予算の説明があり、にくオリジナル種子増殖他の説明があった。委員会では、パイプハウス新規・再生の補助率の検討とオリジナル種子増殖については、再度の検討を要望した。

【建設課関係】

県工事の28年度予算の説明、世紀越えトンネル具現化に向けた鹿角市でのフォーラム開催の説明があった。その他、除雪車ロータリ

の更新、遠瀬、塚ノ上ミ地区の砂防工事実施の説明があった。

【住民課 社会福祉関係】

「年金生活者等臨時福祉給付金」が1051人。「臨時福祉給付金」が1733人を対象に給付されるとのこと。

【農業委員会関係】

農業委員の選出方法が市町村長による任命制に改正されたとの説明があった。

消防団の支援団員制度導入の検討を要望

総務・文教常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 宇藤大介委員
椛本義見委員 澤口勝委員

にくオリジナル種子増殖事業 再検討を要望

産業・民生常任委員会

【構成委員】 沢口博二委員長 日沢一雄副委員長 蹴揚清人委員
砂子田康雄委員 欠端則夫委員

建設課関係

住民課関係

税務課関係

産業振興課関係

診療所・老健の運営

総務課関係

教育課関係

政策推進課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

農業委員会関係

社会福祉関係

診療所・老健の運営

産業振興課関係

住民課関係

建設課関係

<

協議

○実施日 2月22日
議長の諮問を受け、3月4日開会の平成28年第1回定例会の議事日程について協議した。

議会広報編集委員会

○実施日 1月12日

議会だより第86号の誤字・脱字や内容及びレイアウトについて確認を行い、内容について協議した。その後、最終確認を行い、1月27日に発行した。

○実施日 2月22日

議会だより第87号の原稿作成担当議員の決定と、4月14日に発行予定とするスケジュールなどを協議した。

議会だよりは定例会後
早めの発行を

議会運営（広報）委員会

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 日沢一雄委員
尾形憲男委員 沢口博二委員

にんにくが架け橋となった友好
姉妹都市韓国瑞山市訪問



瑞山市の代表的な祭り「瑞山菊祭り」

訪問初日は、副市長主催の歓迎晩餐会に出席しました。身に余る歓待に今日までの交流の意義深さ、両市町の友好の絆を感じました。二日目には、瑞山市役所において歓迎レセプションに招かれ、議長を始め議員各位と親交を温め、現在の市の概要、国内各分野での実績、先進的な取り組みを説明していただいた後、バイオ健康産業、にんにく製品工場、東部市場を見学いたしました。その日の夜は、議長主催の歓迎晩餐会に招かれました。三日目は

「瑞山菊祭り」に参加し、市長主催の晩餐会に出席しました。祭りでは数多くの花々が色彩豊かに展示され、多数の来場者にはたくさん笑顔が溢れていました。四日目に市役所において、市長以下職員皆様による手厚い歓送を受け、ソウル市へと出発。翌日帰国の途につきました。行政、民間交流が26年余と続き、にんにくが国と国を結ぶ架け橋となった両国の友好は、日々進歩を遂げています。

(宇藤大介)

二戸市・三戸町・田子町議会議員
協議会調査研究

1月20日、二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会が三戸町の住谷野「鴛鴦殿」を会場に開催されました。

までの農業とこれからの農業」と題して講演をいただきました。

今回は調査研究活動講演会として、三八地域県民局地域農林水産部農業普及振興室三戸分室副室長の館山峰春氏を講師に招き、「これ

講演では栽培様式の変遷について、戦前は下肥や魚粉、油かすなどの有機質肥料のみが使用されていたが、戦後は多量の科学肥料と農薬の使用により土壌養分や作物の栄養が悪化したと説明。また、現代農業が抱える課題として、気象災害の頻発や病虫害の多発化、後継者不足、TPPの導入等についてあげ、その対策として土作りの重要性、高品質な農産物の生産、こだわりのある農産物の生産、パソコンやインターネットなどの情報通信を活用しての販売の促進や消費者との太いパイプづくりが大事になってくると結ばれました。

(日沢一雄)



館山峰春氏による講演の様子

世紀越えトンネル事業化促進フォーラム

1月21日、私たちは雪の中を町のバスで鹿角市へと向かった。

国道104号の難所、白萩平（来満峠）を通らず、田子町夏坂と鹿角市大湯の間にバイパス道を作り一部をトンネル化して、最短で安心して通れるようにするため世紀越えトンネル事業化促進フォーラムという集会を鹿角市が中心となって行うと

いうのだ。

会場のホテルには、鹿角市関係者や一般市民の方々が多数来場していた。

私たち田子町も一般の人が寒いなかバス一台で参加してくれたので大変心強かった。

フォーラム開始前には、用意していた座席と資料が足りなくなり、田子町と鹿角市の議員から資料を回収して参加者に渡すというハプニングもあったが、予想以上に多くの人に参加してくれたのはうれしいことだった。

パネリストとして当町からは、世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会幹事の日沢一雄氏と、八戸能代間地域連携協議会会長の佐藤裕一氏が発表を行ったが、二人ともさま



世紀越えトンネルの必要性を述べるパネリスト



真剣に話を聞く参加者

ざまな角度から事業を分析研究しており、会場の反応も良かった。

私が驚いたのは、鹿角市民やパネリストの中に先祖が田子や三戸という人が何人かいたことで、この路線ができればまた、こういう人のつながりや物流がスムーズにいくだろうと思ひ、がんばろうと思った。

（欠端則夫）

子牛市場の現状を視察

2月12日、高値が続いていると言われている子牛市場の現状を見るため、七戸町にある青森県家畜市場へ子牛のセリの視察に行きました。この日は約500頭の子牛がセリにかけられ、そのうち田子町からは約40頭が出品されました。

セリの会場では、休みもなく次々と子牛がセリにかけられ、販売されました。

今回のセリでは、最高価格が雄牛で57万6720円、去勢牛で1

08万7560円、雌牛で108万4320円と、やはり高値傾向にあるようです。

田子牛は町の一大イベントである「にんにくとべごまつり」になくてはならないものがあり、最近ではふるさと納税のお礼の品で一番人気があります。しかし、需要は高くなっているものの、田子牛を肥育する方の高齢化や後継者問題に加えて子牛の価格が高くなっており、増頭が難しい状況にあります。肥育農家の方の負担が軽くなり、新たに肥育農家として挑戦する若者を増やしていけるよう、今後、肥育農家の方や町の担当課の話を聞きながら議会で協議し、町に政策提案していきたいと思ひます。



これからセリにかけられる田子町の子牛

連携中枢都市圏講演会

2月12日八戸市で開催されました「連携中枢都市圏講演会」に参加してきました。

連携中枢都市圏構想とは八戸圏域における、これからの人口の長期的推移、世帯数など地方公共団体の現状をふまえ、国が押し進める「まち・ひと・しごと創生」の長期ビジョンと総合戦略など新たな広域連携について



阿高和憲氏による講演

を勉強してきました。事例紹介として「北九州都市圏域連携中枢都市圏について」として北九州市長務企画局長の阿高和憲氏を迎え北九州都市圏域の先進事例を紹介していただきました。北九州都市は北九州市及び近隣16市町村から構成されており、高次都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上などを



講演に耳を傾ける参加者

を目指し取り組んでるものとことです。

講演会は総務省自治行政局市町村課の小牧兼太郎氏を招き「連携中枢都市圏構想の推進について」と題しまして講演いただき、全国連携中枢都市圏の取り組みの推進・形成の動きなど説明いただきました。青森県内の事例としては下北地域における公立図書館の広域利用などあり、公営企業における広域化として北奥羽地区水道事業協議会による新たな広域連携の取り組みなども紹介されました。

(宮村尚哉)

「タツコーラ」に続け!! 「クロシユ」お披露目会

2月29日、田子町ガリーリックセンターで、田子町にんにく国際交流協会（代表理事・原昌徳副町長）が企画開発した黒ニンニク入りのお酒「kuroshyu（クロシユ）」のプレス発表会並びにお披露目会に参加して参りました。

田子町にんにく国際交流協会は昨年から、大ヒットした「タツコーラ」に続く商品開発を始め、ついに完成し



にんにくの目にお披露目した「クロシユ」

このクロシユは「一生懸命働く大人の女性の「褒美」をコンセプトとし、昨年春から開発を進めてきました。田子産の黒ニンニクと赤ワインをブレンドして甘くて飲みやすくフルーティーな味

発売となりました。お披露目会には企画開発した関係者他、50名余の町関係者が参加され盛大に開かれました。お披露目に際し原代表理事は「1年間で15万本売れたタツコーラのように、クロシユも末永く愛してほしい」とあいさつを述べました。



あいさつを述べる原代表理事

基調としたお洒落で高級感あふれるボトルデザインなどターゲットである女性を意識したとのことです。

価格は1本2160円で田子町ガリーリックセンターとインターネットで購入できます。

問い合わせ先

田子町ガリーリックセンター
☎ 32-3165

(宮村尚哉)

行政視察研修報告

3月29日から30日の1泊2日の日程で常任委員会合同視察研修を行いました。29日には東日本大震災被災地の復興状況視察として、岩手県沿岸部と大槌町に、30日にはICTを活用した教育として、大槌町で特定非営利法人カタリバが運営している大槌臨学舎の活動を視察しました。

東日本大震災被災地復興状況視察

（産業・民生常任委員会）

概要

3月29日の岩手県大槌町の復興状況の視察の報告を致します。

大槌町は被災により、死者、行方不明者1284名を数えます。建物の約7割が流出、損壊しました。物的被害額は約796億円と算出されておりあります。

視察内容



プレハブを仮店舗にした飲食店街

視察をして

震災の翌年にも視察に訪れましたが、5年経った今、どのような状況かを見たく、再び訪問しました。改めて、その被害のすさまじさに立ちすくみ、ここから立ち直ることの困難さに茫然とするばかりです。その中であつて、たくましく明るく前進しようとする被災地の人々には、感動し、こちらが「しっかりしろ」と言われているかに感じ、気合いを入れ直す思いで帰って参りました。

大槌町議会事務局の佐々木健事務局長の案内により、全壊の旧役場庁舎、災害公営住宅、港等を案内、説明していただきました。甚大な被害状況にも、地域の「文化」を中心に復興を進めたいと、ユーモアたっぷりの説明に感銘を受けた次第です。復興はまだ半ばというくらいの状況でした。

産業・民生常任委員長

沢口 博二

ICTを活用した教育

（総務・文教常任委員会）

概要



コラボ・スクール大槌臨学舎

概要



タブレットを用いた授業

岩手県大槌町、NPOカタリバが運営するコラボ・スクール大槌臨学舎を視察してきました。被災地の子どもたちのための放課後学校です。小学校3年生から高校3年生が対象で生徒数132名、学費は月額3千円から7千円。

視察内容

法人の菅野祐太氏に説明をしていただいた。

当日は春休みの小学生が勉強に励んでいました。各学年にて部屋が分かれており各々1台

タブレットを使用し個々の課題に取り組んでいました。学年ごとに先生が1〜2名付き操作の補助、監督をしています。タブレットの良さは各々の躰いたところに帰って勉強できるところのこと。

視察をして

平日は時間をずらし生徒が来る、小学生が帰って中学生が来てその後高校生という形。終わったらバスが送迎。先生等の人件費を考えたロケーションと感じた。最も強く感じたのは当日の小学生の態度、とて

も静かで皆勉強にきている。やりたい子が集まり相乗効果があると感じた。また先生と生徒の関係が一方的な縦ではなく馴れ合いの横ではないナナメの関係重視していることに共感ができた。個々の成長を促し地域の課題に取り組む「マイプロジェクト」等は、既存の学校でできないことや、人間形成における学校教育の補完的役割を十二分に発揮していると感じた。タブレット（ICT）は補完的役割であるが、カタリバが提供するものは、我が町の中高一貫教育の目指すところではないかと感ず帰路についた。

総務・文教常任委員長

尾形憲男



大槌町の復興工事の様子

町の方から ひと言インタビュー

町の方から、定例会を傍聴しての感想や、議会への意見など、お話を伺いました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございます。今後とも、田子町議会をよろしく願います。

森林資源の活用を



青森県信用組合田子支店
支店長 白石 達郎さん (57)

田子町の議会はケーブルテレビでも傍聴できるのが便利であり、また、議員の皆さんや行政側の生の声が聞かれ、議会日より共々大変参考になっております。

さて、田子町に赴任して2年が経過しました。年齢が進むと時間の経過があつという間に感じられます。実は田子町への赴任は二度目で、前回は平成5年4月から平成10年3月までの5年間おり、子どもも幼稚園、小学校と共に田子町で過ごしました。当時は人口も7800人位でしたが現在は6000人位であり23年間で1800人の減少となっております。

少子高齢化は、全国の町村自治体の90%が抱えている問題で

あり、一朝一夕で解決できる問題でもありません。増加に転じる事が難しいにしても減少を鈍化する手立てはあると思っております。地域資源を有効活用し、健康で住みやすい地域社会になつてほしいと願っています。

町内を訪問すると、薪ストーブを使用している家庭がたくさんあります。薪ストーブの暖かみは、温風ヒーターや石油ストーブと違い、遠赤外線効果なのか心まで温まるような気がします。私も北欧家庭にあるような薪物のストーブにあこがれており、自宅のリフォームの際は、導入を予定しております。田子町は県内でもトップクラスの森林資源の産地であり、有効利用を真剣に検討すべきと考えます。

例えば、森林所有者が薪を一般家庭へ燃料として販売するか(シルバー人材の活用)、薪割りの機械は高価なため町が購入して一般へ貸出するか、薪ストーブの販売・施工の会社を起業する等、できるものから挑戦してみたいかがでしょうか。森林資源の活用は水資源の環境保全にも繋がり、清流は人を惹きつけます。

議会の傍聴に行きました！



田子町地区婦人会のみなさん
佐々木博子さん (61) (左)
山本百合子さん (67) (中)
村中幸子さん (66) (右)

- 佐々木さん 2～3年前から婦人会の活動として毎年傍聴しています。実際に生で見ると町長や議員の表情がわかり、テレビで見るよりも伝わってくるものがあり、話がよくわかりました。
- 山本さん はじめての議会傍聴で緊張しました。質問にあつた空き家は私の周りにもけっこうあります。建物の周りは草が生えて外観が損なわれ、暗くなると灯りも乏しく淋しさを感じます。一日も早く有効利用できるよう期待します。
- 村中さん テレビで見るより生で見た方がすごく良いと思いました。わかりやすく行って良かったです。みんなで見に来た方が良いと思いますし、私も機会があればぜひまた行きたいです。

編集後記

議会だよりを復活させ、早第7号目となります。文字通り手作りでご委員の全面協力の下、発行している状況です。文字媒体には、独自の力があり、議会活動の細部を町民の皆様にお伝えできれば、と願っております。議会で収集した情報を広く公開しつつ、町民各位のご意見をいただきながら、より良い田子町をつくるために、今後も議会として、また一議員としても活動して参りたい所存です。
(沢口博二)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会(第87号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 日沢 一雄

尾形 憲男

沢口 博二

執筆協力

欠端 則夫 白石 達郎

田子町地区婦人会のみなさん